

【遊学館 境教室】事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表

		チェック項目	境		改善目標 工夫している点など
			はい	いいえ	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		療育スペースの他に個室・静養室があり、活動や利用者の状態に合わせて部屋を使い分けをしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		利用者人数に対して日々適切な人員数を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		バリアフリー化しており、利用者に分かりやすい構造です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々の清掃を徹底しています。勉強スペースや休憩ができる空間があります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		利用者の意思や状態により利用できるようになっています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	6		振り返りの時間を設け、問題点や改善点を話し合い、全職員が統一した支援が行えるよう努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年アンケートを実施し、保護者の意向と利用者の意向を把握し、ニーズに応えられるよう業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		常にミーティング等が行われ、業務改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在は実施していません。必要に応じて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に研修を行い、資質向上に努めています。
適切な 支援の 提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに公表されています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		面談等を行い、子どもと保護者のニーズや課題を把握し、計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全職員が共通理解のもと支援ができるように、ケース会を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		全職員、書面にて計画の確認をし、支援をしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日常の様子を記録し、連絡帳により振り返り等で確認をしています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	ねらい、支援内容を踏まえながら具体的な支援内容を設定していません。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		季節や利用者のニーズとすり合わせながら、全職員で行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		様々な経験が積めるように体験型・運動型・制作活動など、固定化されないように工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		こどもの状況や状態に合わせて個別・集団活動を組み合わせながら支援が行われています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前には必ずミーティングを行い、利用者の情報を共有して支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		日々、振り返りを行い、次の支援に繋げるように情報の共有をしています。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々、当日の様子などをサービス提供記録表にて記録しています。また、それをもとに検証・改善に繋がっています。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的に行っています。 状況や状態が変わった場合は、その都度、見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6		4つの基本活動を念頭に、利用者の年齢や発達状況を踏まえながら支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動を選択することが出来るように支援内容を工夫しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者や児童発達支援管理責任者が参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		医療協定も結んでおり、学校や他事業所、相談支援員との連携をしながら支援をしています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校との情報共有に努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	直接のやり取りはありませんが、相談支援員や学校、保護者からの情報提供を頂いています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	情報の提供がある場合には、保護者の同意のもと提供します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	センターはないため、相談支援員からの助言等をいただいています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	公園にて交流があったりするぐらいです。機会を設けて活動することはなく、今後検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	参加する機会がありませんが、今後あれば積極的に参加します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎の際にその日の様子等をお伝えし、情報の共有をしています。 状況や課題について共通理解のもと支援に繋がられるようにしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	現在行っていません。必要に応じて対応できるように検討します。
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		変更や見直しがある毎に説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定期的な面談等により行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		こどもや家族の意向を聞き取りし、計画を作成しています。支援内容の説明をしたうえで保護者からの同意をいただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談できる関係性に努めています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	現在行っていません。必要に応じて検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった際には迅速・誠実に対応いたします。
	42	定期的通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月、おたよりにて活動の様子等を発信しています。ブログにも活動の様子を定期的にアップしており、保護者やその他の方にも発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		取り扱いに際し、毎年保護者の同意をいただいで確認させてもらっています。また、個人情報の書類等は鍵のかかる書庫にて管理しています。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		手話やジェスチャー、絵カードなどで対応しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	行っておりません。近隣で開催された行事等には参加しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを作成し周知しています。 定期的な研修・訓練も行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを作成し、定期的に訓練・研修を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約の際に確認をしています。また、状況が変わった際にはその都度確認をさせてもらっています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		アレルギー結果のコピー等をいただいています。それに基づき対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		計画を作成し、定期的に研修・訓練が行われています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画は保護者へ周知されています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事案が発生した場合、ヒヤリハットを作成しています。また、情報を共有し、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		適切な支援を行うため、年2回の研修をしています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		全職員、身体拘束研修を行っています。 身体拘束を行う場合の説明も保護者に行い、個別支援計画書に記載されています。